

【ポイント】

- (内政) アレバロ大統領が国内の医薬品業界における価格操作に言及する等、政府は保健省、経済省に絡む前政権時代の不正を告発。さらに通信インフラ省は全国の橋の欠陥を明らかにした。共和国議会ではラモス議長が再選され、司法関連では、憲法の規定どおり最高裁と上訴裁の裁判官が就任した。また、前政権を厳しく非難し 2022 年から拘束されていたジャーナリストのサモラ氏が釈放され、アレバロ大統領は報道の自由の重要性を強調した。
- (外交) アレバロ大統領はシェインバウム・メキシコ大統領就任式に出席した。台湾との関係では、林佳龍外交部長がグアテマラを訪問し、連携と支援の強化が確認された。同外交部長の訪問を受け、中国政府(外交部報道官定例記者会見)は、グアテマラ政府は中国との関係につき「正しい決断」をすべきとコメントした。
- (開発協力) 我が国の国連移住機関(IOM)との連携による帰還移民受け入れセンター改修の引き渡し式が当地主要紙で取り上げられた。
- (経済) 世界銀行はグアテマラの経済成長を評価し、2024 年の成長率を 4%と予測。中央銀行は第 2 四半期の成長率を 3.7%、上半期の直接投資が前年同期比 3.2%増と発表し、マクロ経済は引き続き好調を示している。

【本文】

1 内政

(1) 政府の取組

ア アレバロ大統領は価格操作による国内の医薬品高騰を非難

7 日、アレバロ大統領は国内の医薬品について、独占によって価格が操作されていると非難した。国内には製薬カルテルが存在し、薬の価格は近隣諸国の 2~3 倍に達しており薬の購入目的で隣国へ渡航する人もいとされる。政府はコスト削減の措置を講じているが、経済学者らは競争法の欠如(2024年10月時点)が高騰の一因と指摘している。

イ 国税庁が大規模脱税事件「B410」の進捗を発表

8 日、グアテマラ国税庁は 8 月に告発した大規模脱税事件「B410」の進捗を発表。ディアス国税庁長官は、新たに 241 社を告発し、また 2400 万ケツアル(約 4 億 5 千万円)を回収した旨報告した。

ウ 保健省、サン・ファン・デ・ディオス国立病院における不正事案を発表。

10日保健省は、サン・フアン・デ・ディオス国立総合病院(Hospigen)における11.8百万ケツアル(約2億2千万円)の汚職事案を明らかにし、7人の元職員と従業員を告発した。同発表では、前政権時代の2022年から2023年にかけてメンテナンスサービスに絡む架空及び水増し請求が行われたとされている。

エ 経済省、奨学金プログラムに関する告発を行う

28日、ガルシア経済大臣は、前政権で実施された就業のための英語修得助成金プログラムに不正が見つかったとして告発を行った。当該プログラムは、2023年に35百万ケツアル(約7億円)の予算が割り当てられたにもかかわらず、5,458件の助成金提供の内、完了したのは半数に留まり、就業状況の評価も行われていなかった。

オ 通信インフラ省、全国の橋が何らかの問題を抱えていると発表

28日、アルバラド通信インフラ大臣は、全国の道路網に含まれる1,260本の橋が何らかの欠陥を抱えており、内9%の問題は深刻である旨発表した。同大臣は、長年にわたるメンテナンスを怠っていたため現在の状況が発生したと説明し、通信インフラ省は調査と修復作業に注力していると明らかにした。

(2) 議会の動き: ネリー・ラモス議長が再選

22日、共和国議会議長選挙が実施され、ネリー・ラモス現職議長が156票中150票を獲得し、来年度の議長に再選された。ラモス議長は「議会の門扉を開け、国民の問題に応じていく」と抱負を述べた。

(3) 司法の動き: 最高裁及び上訴裁の裁判官が就任

13日、憲法の規定に従い13名の最高裁判所(CSJ)裁判官及び155名の上訴裁裁判官が就任した。最高裁は同日開かれた初会合において互選による新長官を選出できなかったため、法律に従い選出過程で最も多くの得票を得たカルロス・ロディミエロ・ルセロ・パス判事が暫定長官に就任した。

(4) ジャーナリストのルベン・サモラ氏が釈放される

18日、ホセ・ルベン・サモラ氏(注:前政権時代に汚職を厳しく追及する立場で報道を行っていた反政府系日刊紙の元社長。検察庁に資金洗浄、職権濫用、脅迫などの容疑をかけられ、2022年7月に逮捕され、これまで拘留されていた。)の自宅軟禁が認められ、サモラ氏は翌19日拘置所を後にした。

21日、アレバロ大統領はサモラ氏を訪問し、報道の自由、表現の自由、人権の保障の尊重へのコミットメントを表明し、これらの価値観が現政府の基本的な柱であることをサモラ氏に伝えた。これに対してサモラ氏は収監中の人道的な扱いや権利の保護についてのサアベドラ訟務長官をはじ

めとする現政府が果たした役割に感謝の意を表明した。

2 外交

(1) アレバロ大統領、シェインバウム・メキシコ大統領就任式に出席

アレバロ大統領は、1 日、次期大統領クラウディア・シェインバウム氏と、エネルギー、保健、治安、雇用、貿易などについて意見交換を行い、翌 2 日、同シェインバウム大統領就任式に出席。また、ペトロ・コロンビア大統領との首脳会談、米、墨の投資家達との会合も実施した。

(2) グアテマラ政府、中東情勢に関し声明を発出

1 日、グアテマラ外務省は、イラン及びイスラエルによるミサイル攻撃に対する非難声明を発出し、即時完全停戦を呼びかけた。

(3) グアテマラ外務省が被団協のノーベル平和賞受賞に祝意を表明

10 日、グアテマラ外務省は X アカウントを通じ、日本原爆水爆被害者団体協議会(被団協)のノーベル平和賞受賞を大変意義深い事であるとして祝意を表するとともに、グアテマラ政府は核兵器のない世界に向けた取組を強化すると言及した。

(4) 林佳龍台湾外交部長の当国訪問

グアテマラ、ベリーズ、セントルシア、セント・クリストファー・ネービス、セントビンセント及びグレナディーン諸島を歴訪中の林佳龍(Lin Chialung)台湾外交部長は、10 月 24-26 日の日程で当国を公式訪問し、マルティネス外相との会談、アレバロ大統領表敬等を行った。林外交部長は最大のパートナーであるグアテマラに対する支援の強化を約束した。

林台湾外交部長のグアテマラ訪問に対し、林剣中国外交部報道官は定例記者会見において、多くのグアテマラ国民は中国との国交樹立が根本的かつ長期的な利益になると認識していると主張し、さらにグアテマラ政府は「正しい決断」をすべきと警告した。

(5) 開発協力

ア 米国によるグアテマラへの支援

2 日、グアテマラを訪問したトッド・ロビンソン米国国務次官補(国際麻薬・法執行担当、元駐グアテマラ米国大使)は、ヒメネス内務大臣との会談において、治安と司法分野の取組を後押しするため、「Guatemala se Transforma」プログラムを通じて 5000 万ドルの追加支援を行うと発表した。米国は本年 3 月にも同プログラムで 5,000 万ドルを供与している。

また、4 日、米国は麻薬取引・組織犯罪対策のためグアテマラ政府に対し監視艇 1 隻、船外機 12 機の供与を実施。同供与式にはアレバロ大統領が出席した。

イ 日本政府による無償資金協力:潜在移民及び帰還移民の若年層帰還者受け入れセンターの

引き渡し

21 日、在グアテマラ日本国大使館は、国際移住機関 (IOM) を通じて実施した帰還移民受け入れセンター改修計画の引き渡し式を実施し、その様子が当地主要紙に取り上げられた。同改修には、太陽光発電システム、携帯電話充電スペース、高速 Wi-Fi ネットワークの設置、排水処理システムの改善や指紋読み取り式入出管理システムの導入などが含まれている。

3 経済

(1) マクロ経済

ア 物価上昇率が低下傾向

7 日、国立統計院 (INE) は 9 月のインフレ率が昨年同期比 2.11% であったと発表。これは 7 月の 3.78%、8 月の 3.07% に続きインフレのスピードが次第に減速していることを示している。また、ガソリン価格及び食品部門の価格下落等が同結果に寄与していると言及。

イ 世銀がグアテマラ経済の潜在力を高く評価

8 日、世界銀行は経済見通しを発表し、グアテマラの経済成長の潜在力を好評価した。同発表によると、2023 年のグアテマラの GDP は 1044 億ドルであり、2014 年以降平均 3.2% の成長を続けている。2024 年には 4% の成長が期待されており、グアテマラ中央銀行の予測 3.5% を上回る。この成長は慎重な財政および金融政策によるものとしている。その一方で、世銀は貧困率が依然として高いことも指摘している。2023 年には約 55% の国民が貧困状態にあり、経済の 49% をインフォーマルセクターが占めている。頻繁な自然災害や基本サービスへのアクセスの欠如も、貧困の根本原因であると示唆している。

ウ 中央銀行は第 2 四半期の経済成長率を 3.7% と発表

12 日、中央銀行は、第 2 四半期の経済成長率を 3.7% と発表した。成長の理由は家計の最終消費支出と機械設備投資による内需拡大の結果であるとしている。セクター別成長率は、電気・水道等 8.4%、情報通信業 6.9%、金融・保険業 6.9%、貿易・自動車修理業 5.2% 等。マイナスは建設業 -3.7%、採鉱・採石業 -3.5%、農業 -1% 等。

なお、中銀は、中国の経済活動の見通し、地政学的緊張及び貿易摩擦の激化、主要商品の国際価格の変動をグアテマラ経済のリスク要因としている。

エ 中央銀行は上半期の対内直接投資を前年同期比 3.2% 増と発表

17 日、中央銀行は上半期の直接投資受入額が 8 億 300 万ドルに達し、前年同期比 3.2% 増となる旨発表した。主な投資受入業種は、金融・保険業 3 億 4,330 万ドル、貿易・自動車修理業 2 億 1,290 万ドル、製造業 1 億 3,860 万ドル等。主要な投資国はパナマ 2 億 4,810 万ドル、米国 1 億 9,740 万米ドル、メキシコ 1 億 3,280 万米ドル、ルクセンブルク 6,640 万米ドル等。

(2) コーヒー産業の新年度始まる

1 日、新たなコーヒーの年度が始まった。全国コーヒー協会 (Anacafe) の発表によると 2023 年 10 月～2024 年 9 月のグアテマラコーヒーの輸出量は昨年度比約 5% 増の 185,000 トン、輸出額はコーヒー豆価格の下落を受け 6.2% 減の 8 億 8560 万ドルとなる見込み。

5 治安

人身取引の大規模な取締りを実施

1 日内務省は、汚職撲滅と組織犯罪解体の一環として、検察庁と協力して違法移民の人身取引ネットワークを標的とした大規模な取締りを実施し、23 名の現職及び元警察官を含む 36 名の関係者を逮捕したと発表した。

《経済指標》

| ◇主要経済指標◇ | 2024 年 | | 2023 年 | 2022 年 |
|---------------|----------|----------|-----------|----------|
| | 10月 | 9月 | | |
| インフレ率(前年同月比) | 1.16 | 2.11% | 6.27% | 9.24% |
| 貿易収支(百万ドル) | △1,835.0 | △1,582.4 | △16,124.2 | △16,437 |
| 輸出(百万ドル) | 1,177.8 | 1,116.8 | 14,194.3 | 15,684.3 |
| 輸入(百万ドル) | 3,012.8 | 2,699.2 | 30,318.5 | 32,121.8 |
| 外貨準備高(百万ドル) | 24,216.4 | 24,233.1 | 21,319.4 | 20,019.8 |
| 外国からの送金(百万ドル) | 2,000.4 | 1,724.1 | 19,804.0 | 18,040.3 |
| 為替レート(対ドル月平均) | 7.75 | 7.75 | 7.85 | 7.77 |